

みずほCustomer Desk Report 2017/12/01号(As of 2017/11/30)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.07
TKY 9:00AM	112.02	1.1850	132.74	1.3416	0.7566
SYD-NY High	112.63	1.1931	134.15	1.3549	0.7595
SYD-NY Low	111.74	1.1809	132.67	1.3406	0.7557
NY 5:00 PM	112.53	1.1904	134.00	1.3526	0.7564
NY DOW	24,272.35	331.67	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	6,873.97	49.58	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,647.58	21.51	米国2年債	1.7880	2.41bp
日経平均	22,724.96	127.76	米国5年債	2.1417	3.66bp
TOPIX	1,792.08	5.93	米国10年債	2.4141	2.68bp
シカゴ日経先物	22,875	220	独10年債	0.3645	▲2.00bp
ロンドンFT	7,326.67	▲66.89	英10年債	1.3290	▲0.90bp
DAX	13,023.98	▲37.89	豪10年債	2.4995	1.55bp
ハンセン指数	29,177.35	▲446.48	USDJPY 1M Vol	7.97	0.02%
上海総合	3,317.19	▲20.67	USDJPY 3M Vol	8.18	0.05%
NY金	1,276.70	▲5.40	USDJPY 6M Vol	8.74	0.07%
WTI	57.42	0.12	USDJPY 1M 25RR	-0.60	Yen Call Over
CRB指数	189.17	▲1.73	EURJPY 3M Vol	7.81	0.01%
ドルインデックス	93.00	▲0.17	EURJPY 6M Vol	8.73	0.01%

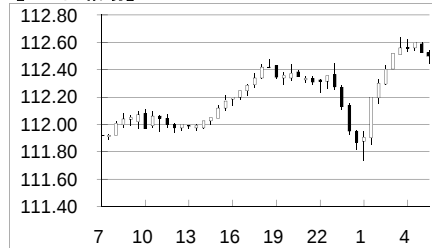
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月30日	19:00	欧 失業率	10月 8.8%	8.9%
	19:00	欧 CPI/コアCPI(前年比)	11月 1.5%/0.9%	1.6%/1.0%
	22:30	米 個人所得/個人支出	10月 0.4%/0.3%	0.3%/0.3%
	22:30	米 コアPCE(前月比/前年比)	10月 0.2%/1.4%	0.2%/1.4%

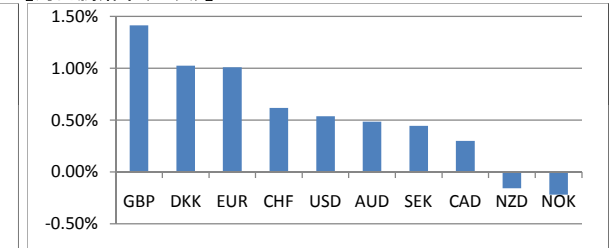
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月1日	18:00	欧 マークイット製造業PMI・確報	11月 60.0	60.0
	18:30	英 マークイット製造業PMI	11月 56.5	56.3
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	11月 54.0	53.8
12月2日	0:00	米 ISM製造業景況指数	11月 58.3	58.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.50	1.1850-1.1950	133.0-135.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は下に往って来い。欧州時間序盤、債券円等のクロス円上昇にドル/円も112.48円までじり高の展開。米10月PCEデフレーション率はほぼ市場予想通りとなり為替相場の反応は限定的だったが、一部上院議員が「税制改革案に賛成すると限らない」とコメントしたことを受けて、112円を割り込み111.74円まで急落。その後、共和党マケイン上院議員から「上院の税制改革法案を支持する」と表明したことからドル/円は反発、直近高値を抜け112.63円まで急伸した。本日のドル/円は上昇を予想する。米税制改革案成立への期待感から米金利上昇、米株上昇となっており、月末の本邦輸出勢の売りをこなしたドル/円は、日経平均の底堅い値動きに合わせ堅調推移しそうだ。

東京	オセア7時間のドル円は海外時間の上昇の流れを引き継ぎ、111円台後半から112円台まで上昇。東京時間、112.02レベルでオープン。五・十日であることから輸入企業によるドル買い円売りのフローが意識される中、ドル円は公示仲値の発表前に112.11まで上昇。しかし29日高値112.15を上抜けるほどの勢いはなく111.94まで反落。その後は新規材料が欠ける中、112円付近の小幅なレンジで推移。東京時間午後に入ると日経平均株価が上昇する中、ドル円も112.21まで上昇し、112.17レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.17レベルでオープン。五・十日需要や米税制改革への期待で一時112.48円まで上伸し、112.32レベルで海外に渡った。ユーロは1.1861レベルでオープン。11月のユーロ圏CPI速報値が前年比+1.5%と予想(+1.6%)を下回ると安値1.1809まで下落。しかしECBのプラト専務理事が、「ユーロ圏の景気拡大は注目に値する」「金融刺激策はもはや唯一の選択肢ではない」との見解を示したことで、テバリング観測が浮上、1.1850まで反発し、1.1845レベルで海外に渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は112円台前半まで底堅く推移し、112.32レベルでNY時間オープン。朝方発表された米指標が良好な結果となったことを受け、112.45まで上昇。しかし、月末需給に伴いロンドンフィクシングにかけてドル売りが進行し、海外時間の安値を下抜け、安値111.74まで下落。しかし米共和党の重鎮であるジョン・マケイン上院議員が上院の税制改革法案に対する支持を表明したとの報道が流れるとドル円は上昇に転じ、米長期金利が約2週間ぶりに2.40%台を示現し上昇幅が拡大する動きに連れて、ドル円も高値112.63まで上昇。しかし、11月20日の直近高値112.70を上抜けるには至らず、方向感なく推移し112.53レベルで海外に渡った。本日は、S&P500共に史上最高値を更新した。なお、ワシントンポストの記者が「上院での税制案最終採決は本日(11/30)より金曜(12/1)の可能性が高い」との見解を示した。一方、ユーロは1.1845レベルでNYオープン後、良好な米指標を受けたドル買いに1.1841まで下落する場面も見られたが、ロンドンフィクシングにかけてドル売りが強まると、ユーロも高値1.1931まで上昇。ロンドンフィクシングをこなすと、1.1886まで下落したが、ユーロが米株上昇を横目に約1ヶ月ぶり高値134.15まで上昇する動きに、ユーロもサポートされ1.1919台を回復し、その後も底堅くに終始し、1.1904レベルで海外に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:山本・田家